

【別紙】 料金データを基にした
マッピングデータ自動更新処理

目次

はじめに	1
マッピングデータ更新（使用者番号、給水管）	1

はじめに

本資料は、取り込んだ料金データをもとに実行する、マッピングデータ更新処理内容を示したものです。

マッピングデータ更新（使用者番号、給水管）

最新履歴料金データをもとに、マッピングデータを更新します。

処理対象マッピングデータ

レイヤ名称
給水管
廃止給水管
使用者番号
廃止使用者番号

更新するマッピング属性

（１）属性セット

使用者番号レイヤの以下属性に料金データの値をセットします。

属性名称
地区分類
方書きコード
用途コード
実口径
メータ形式
給水方式
開閉栓区分
閉栓停水状態

閉栓停水状態が未開栓未設（＝１２）またはその他未設（＝１３）の場合
 使用者番号レイヤ

属性名称	内容
状況コード	0をセットする

給水管レイヤ

属性名称	内容
1次側給水管年度	NULLをセットする
1次給水管管種コード	96(未接続)をセットする
1次給水管口径	NULLをセットする
1次給水管維手	NULLをセットする
2次側給水管年度	NULLをセットする
2次給水管管種コード	96(未接続)をセットする
2次給水管口径	NULLをセットする
2次給水管維手	NULLをセットする

（２）レイヤ変更

開閉栓区分が廃止（＝９）の場合、廃止属性に変更する。

使用者番号が一致する給水管も同様に変更する。

給水管⇒廃止給水管、使用者番号⇒廃止使用者番号へ変更をおこなう。

給水管と使用者番号のつながりは判断せず、それぞれのレイヤの属性をみて、廃止の場合レイヤ変更を行う。

<料金データの値にたいするマッピング更新処理>

料金データの値		処理	
開閉栓情報	閉栓停水状態	使用者番号レイヤ	給水管レイヤ
1、2、3、4	0～11、15	属性セット	——
1、2、3、4	12、13	属性セット	属性セット
9	0～11、15	レイヤ変更 属性セット	レイヤ変更
9	12、13	レイヤ変更 属性セット	レイヤ変更 属性セット

＜参照する料金データの値の内容＞

開閉栓情報				
1：開栓	2：休止	3：閉栓	4：停水	9：撤去

閉栓停水状態		
0:未設定	1:メータ引上	2:同時開栓
3:キャップ止	4:プラグ止	5:宅内管撤去
6:井水接続	7:止水栓止	8:未開栓
9:その他	11:ボックス不明	12:未開栓未接
13:その他未接	15:閉栓手数料	